



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)



平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

コード番号 2914 URL <http://www.iti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小泉 光臣

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コミュニケーション責任者

(氏名) 前田 勇気

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-3582-3111

平成25年11月29日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,159,116	9.6	347,363	30.8	339,075	34.5	241,057	40.3	237,147	40.5	411,292	187.0
25年3月期第2四半期	1,057,391	6.0	265,545	25.5	252,016	20.6	171,814	16.7	168,764	17.5	143,317	△34.7

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	130.48		130.41	
25年3月期第2四半期	88.62		88.58	

(注)1.平成25年3月期第2四半期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は10ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。
2.当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率		1株当たり親会社所有者帰属持分	
	百万円	円	百万円	円	百万円	%	円	銭		
26年3月期第2四半期	4,101,120		2,233,255		2,145,189	52.3	1,180.30			
25年3月期	3,852,567		1,892,431		1,806,543	46.9	993.98			

(注)1.平成25年3月期の各財務数値は、会計方針の一部変更に伴い遡及修正を行っております。詳細は10ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。
2.当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり親会社所有者帰属持分を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
25年3月期	—	30.00	—	38.00	68.00
26年3月期	—	46.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	46.00	92.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	2,368,000	11.7	632,000	18.7	616,000	20.9	423,000	20.4	415,000	20.8	228.34	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注)詳細は10ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	2,000,000,000 株	25年3月期	2,000,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	182,508,188 株	25年3月期	182,510,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	1,817,490,693 株	25年3月期2Q	1,904,294,800 株

(注)当社は、平成24年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行っておりますので、前年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提及び仮定に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる前提及び仮定その他業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、11ページをご参照ください。

(2) 当社は、平成24年7月1日を効力発生日として、1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

(3) 決算説明会資料等につきましては、当社ウェブサイト(<http://www.jti.co.jp/>)をご覧ください。

添付資料 目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P7
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P8
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P10
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P10
3. 要約四半期連結財務諸表	P12
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P12
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P14
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P16
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P18
(5) セグメント情報	P20
(6) 継続企業の前提に関する注記	P24
(7) 重要な後発事象	P24

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(非 GAAP 指標について)

当社グループは、当社が適用する会計基準である IFRS において定義されていない指標を追加的に開示しております。これらの指標は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理にも利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報であると考えております。

自社たばこ製品売上収益

たばこ事業においては、自社たばこ製品に係る売上収益を、売上収益の内訳として追加的に開示しております。具体的には、国内たばこ事業においては、売上収益から輸入たばこ配送手数料等に係る売上収益を控除し、海外たばこ事業においては、売上収益から物流事業及び製造受託等に係る売上収益を控除しております。

調整後 EBITDA

当社グループの業績の有用な比較情報として、営業利益（損失）から、減価償却費及び償却費、調整項目（収益及び費用）を除いた調整後 EBITDA を開示しております。なお、調整項目（収益及び費用）はのれんの減損損失、リストラクチャリング収益及び費用等です。

なお、全社業績における為替一定ベース調整後 EBITDA の成長率も追加的に開示しております。これは、海外たばこ事業における当期の調整後 EBITDA を前年同期の為替レートをを用いて換算・算出することにより、為替影響を除いた指標です。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 全般的概況

売上収益

売上収益につきましては、海外たばこ事業における総販売数量の減少影響を上回る単価上昇効果及び円安影響等により、前年同期比 1,017 億円増収の 1 兆 1,591 億円（前年同期比 9.6%増）となりました。

(単位：億円)

	2013年3月期 第2四半期 連結累計期間	2014年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減	
売上収益	10,574	11,591	1,017	9.6%
国内たばこ事業	3,507	3,523	17	0.5%
内、自社たばこ製品	3,350	3,358	7	0.2%
海外たばこ事業	4,902	5,962	1,060	21.6%
内、自社たばこ製品	4,570	5,597	1,027	22.5%
医薬事業	265	304	39	14.7%
飲料事業	982	972	△10	△1.0%
加工食品事業	839	758	△80	△9.6%

※ 連結外部に対する収益を表示しております。

※ 売上収益には、上記のセグメントに係る売上収益の他、不動産賃貸等に係る売上収益があります。詳細につきましては、21 ページ「3. 要約四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

※ 加工食品事業の前年同期の売上収益には 2012 年 12 月に事業停止を行った水産事業に係る売上収益が含まれており、これを除いた売上収益は 734 億円となります。従いまして、水産事業を除く加工食品事業の売上収益につきましては、前年同期比 25 億円の増収となります。

営業利益、調整後 EBITDA 及び四半期利益（親会社所有者帰属）

調整後 EBITDA につきましては、海外たばこ事業における単価上昇効果及び円安影響等により、前年同期比 427 億円増益の 3,717 億円（前年同期比 13.0%増）となりました。なお、為替一定ベース調整後 EBITDA につきましては、前年同期比 0.7%の成長となります。

営業利益につきましては、固定資産売却益の増加等もあり、前年同期比 818 億円増益の 3,474 億円（前年同期比 30.8%増）となりました。

営業利益の増益により、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては前年同期比 684 億円増益の 2,371 億円（前年同期比 40.5%増）となりました。

(単位：億円)

	2013年3月期 第2四半期 連結累計期間	2014年3月期 第2四半期 連結累計期間	増減	
			金額	増減率
調整後 EBITDA	3,290	3,717	427	13.0%
国内たばこ事業	1,542	1,533	△9	△0.6%
海外たばこ事業	1,729	2,178	450	26.0%
医薬事業	△61	△36	24	—
飲料事業	73	45	△28	△37.8%
加工食品事業	27	30	3	10.4%
営業利益	2,655	3,474	818	30.8%
四半期利益（親会社所有者帰属）	1,688	2,371	684	40.5%

※ 営業利益・調整後 EBITDA には、上記のセグメント以外に係る営業利益・調整後 EBITDA を含みます。詳細につきましては、21 ページ「3. 要約四半期連結財務諸表（5）セグメント情報 ②セグメント収益及び業績」をご参照ください。

②事業別の概況

〔国内たばこ事業〕

当第2四半期連結累計期間においては、香りチェンジカプセルを搭載した「メビウス・プレミアム・メンソール・オプション」3銘柄を発売するなど、ブランド・エクイティの更なる向上に努めました。また、積極的な販売促進活動を実施したこと等により、メビウスのシェアが好調に推移し、当第2四半期連結累計期間のシェアは60.6%（前年度シェア59.6%）と着実に上昇してきております。

その結果、国内における紙巻たばこの販売数量は、総需要が1.6%減少したものの、前年同期と同水準となりました。

(単位：億本)

国内たばこ事業	2013年3月期第2四半期 連結累計期間	2014年3月期第2四半期 連結累計期間	増減	
販売数量 ^(注)	596	596	1	0.1%

(注) 当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第2四半期連結累計期間における販売数量17億本（前年同期の当該数量は15億本）があります。

販売数量の堅調な推移により、自社たばこ製品売上収益についても前年同期と同水準となりました。なお、国内紙巻たばこの千本当売上収益は5,488円となりました。

また、利益面でも、調整後EBITDAは前年同期と同水準となりました。

(単位：億円)

国内たばこ事業	2013年3月期第2四半期 連結累計期間	2014年3月期第2四半期 連結累計期間	増減	
売上収益	3,507	3,523	17	0.5%
内、自社たばこ製品	3,350	3,358	7	0.2%
調整後EBITDA	1,542	1,533	△9	△0.6%

〔海外たばこ事業〕

当第2四半期連結累計期間におけるGFB^(注1)の販売数量につきましては、「ウィンストン」がロシア、コーカサスで、「LD」がカザフスタン、ハンガリーで増加しましたが、ロシア及び欧州を中心とした総需要の減少に加え、複数市場における流通在庫の調整によるマイナス影響により、前年同期に対し2.3%の減少となりました。また、GFBを含む総販売数量につきましても、ロシアを除く主要市場におけるシェアの伸長、大手RYO/MYO^(注2)たばこ会社であるGryson社の買収効果があるものの、前年同期に対し5.1%減となりました。

(単位：億本)

海外たばこ事業	2013年3月期第2四半期 連結累計期間	2014年3月期第2四半期 連結累計期間	増減	
販売数量	2,124	2,016	△108	△5.1%
内、GFB	1,308	1,279	△30	△2.3%

販売数量の減少影響はあるものの、単価上昇効果がこれを上回ったことにより、ドルベースの自社たばこ製品売上収益は2.0%増、販売促進投資の増加があるものの調整後EBITDAは4.9%増となりました。

(単位：百万ドル)

海外たばこ事業 (ドルベース)	2013年3月期第2四半期 連結累計期間	2014年3月期第2四半期 連結累計期間	増減	
売上収益	6,146	6,223	78	1.3%
内、自社たばこ製品	5,728	5,840	112	2.0%
調整後EBITDA	2,167	2,274	107	4.9%

邦貨換算時に円安影響を受けた結果、円ベースの自社たばこ製品売上収益は22.5%増、調整後EBITDAは26.0%増となりました。

(単位：億円)

海外たばこ事業	2013年3月期第2四半期 連結累計期間	2014年3月期第2四半期 連結累計期間	増減	
売上収益	4,902	5,962	1,060	21.6%
内、自社たばこ製品	4,570	5,597	1,027	22.5%
調整後EBITDA	1,729	2,178	450	26.0%

(注1) 当社グループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス(マイルドセブン)」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド)としております。

(注2) RYOとはRoll Your Ownの略で、一般的に、お客様ご自身の手で巻紙を用いて手巻きするための刻たばこを意味します。MYOとはMake Your Ownの略で、一般的に、お客様が器具と筒状の巻紙を用いて紙巻たばこを作製するための刻たばこを意味します。

※ 当第2四半期連結累計期間における米国ドルに対する為替レートにつきましては、以下のとおりです。

為替レート (1米国ドル)	2013年3月期第2四半期 連結累計期間	2014年3月期第2四半期 連結累計期間
円	79.77	95.73
ループル	30.60	31.03
英ポンド	0.63	0.65
ユーロ	0.77	0.76

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の迅速且つ円滑な上市及び各製品の価値最大化を通じ、収益基盤の更なる強化を目指しております。開発状況としましては、現在当社において9品目が臨床試験の段階にあります。前回公表時（2013年7月30日）より、腎性貧血治療薬「JTZ-951」が国内でPhase 2に移行しました。

後期開発品の主な状況については、国内において、当社が高リン血症治療薬「JTT-751」を、鳥居薬品がスギ花粉症に対する舌下免疫療法薬「TO-194SL」を、それぞれ2012年度に製造販売承認申請を行っております。導出品に関しては、ギリアド・サイエンシズ社が抗HIV薬「JTK-303」について、米国食品医薬品局（FDA）及び欧州医薬品庁等へ承認申請を行っております。また、グラクソ・スミスクライン社がMEK阻害剤（trametinib）について、転移性メラノーマを適応症として欧州医薬品庁へ承認申請を行っております。

当第2四半期連結累計期間における売上収益につきましては、既導出品の開発進展に伴う一時金収入の増加や販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加、また、鳥居薬品における「レミッチカプセル（血液透析患者における経口そう痒症改善剤）」「ツルバダ配合錠（抗HIV薬）」等の増収により、前年同期比39億円増収の304億円（前年同期比14.7%増）となりました。調整後EBITDAにつきましては、売上収益の増加により24億円改善し、36億円のマイナス（前年同期の調整後EBITDAは61億円のマイナス）となりました。

※ 臨床開発品目につきましては、本日公表の2013年度第2四半期決算説明会資料の「臨床開発品目一覧（2013年10月31日現在）」をご覧ください。

※ 2012年度以降に上市した製品

- ・ 抗HIV薬「スタリビルド配合錠」：日本では鳥居薬品が販売。日本以外では、ギリアド・サイエンシズ社が米国・欧州等で「Stribild」として販売。
- ・ MEK阻害剤「Mekinist」（適応症 転移性メラノーマ）：グラクソ・スミスクライン社が米国で販売。

〔飲料事業〕

当第2四半期において、基幹ブランド「ルーツ」からは、独自の焙煎技術でより柔らかい口当たりと澄み切ったコクを引き出した「アロマブラックホットブレンド」等をリニューアル発売するとともに、当社独自の“AROMA & TASTY（アロマ アンド テイスティ）製法”によりコーヒーのコク深い味わいとスッキリとした後口を実現した「ルーツ スペシャルブレンド微糖」等185g缶3品、及び「香り」と「凝縮」をコンセプトにした、ルーツ「AROMA STAGE & Coffee」、「AROMA STAGE & Milk」の販売を開始する等、積極的な商品投入に努めました。また、ルーツブランドの更なる価値向上に向け、食品業界で活躍する他企業とのコラボレーションにより、缶コーヒーの枠組みに捉われない新たなカテゴリーへのブランド展開を図りました。

当第2四半期連結累計期間における売上収益につきましては、「桃の天然水」の伸長により、当社製品販売数量は増加した一方、自販機販路における減収により、前年同期比10億円減収の972億円（前年同期比1.0%減）となりました。調整後EBITDAにつきましても、質の高い自販機オペレーションの更なる強化やブランド力強化に向けた費用の増加等により、前年同期比28億円減益の45億円（前年同期比37.8%減）となりました。

〔加工食品事業〕

当第2四半期においては、引き続き、冷凍麺、冷凍米飯、パックご飯、焼成冷凍パンといったステープル（主食）商品に注力した商品展開を図りました。具体的には、「簡便性」「健康志向」「本格感」を消費者ニーズのキーワードととらえ、“強いコシ”、“なめらかなのどごし”、“モチモチした食感”を目指した「丹念仕込み 本場さぬきうどん」や「品質」「満足度」に着目した具付麺「贅沢三昧 すき焼風肉うどん」等の“贅沢三昧（ぜいたくざんまい）”シリーズの販売を開始するなど、積極的な商品投入に努めました。

当第2四半期連結累計期間における売上収益につきましては、ステープル商品の伸長はあったものの、2012年12月に水産事業の事業停止を行った影響等により前年同期比80億円減収の758億円（前年同期比9.6%減）となりました。なお、水産事業を除く売上収益につきましては、前年同期比25億円の増収となります。調整後EBITDAにつきましては、円安に伴う原価上昇はあったものの、ステープル商品の伸長等もあり、前年同期比3億円増益の30億円（前年同期比10.4%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ24億円減少し、1,403億円となりました（前年同期末残高3,443億円）。

※ 日本国内において、前年同期末及び前年度末はいずれも金融機関の休日であったため、未払たばこ税は、期末日が金融機関の営業日である場合に比べ1ヶ月分多くとなっております。なお、前年同期末及び前年度末の翌金融機関営業日に納付した国内のたばこ税支払額は、それぞれ1,671億円、1,366億円です。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、232億円の収入（前年同期は2,593億円の収入）となりました。これは、たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出等があったものの、金融機関の休日の影響から、国内のたばこ税の支払額が7ヶ月分となったこと等によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、78億円の収入（前年同期は963億円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出等があった一方、投資不動産の売却による収入等があったことによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、403億円の支出（前年同期は2,149億円の支出）となりました。これは、社債の発行があった一方で、配当金の支払及び借入金の返済等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想につきましては、以下のとおり修正いたします。

(単位：億円)

	2014年3月期 前回予想 (4月25日公表)	2014年3月期 今回予想	増減
売上収益	23,680	23,680	—
国内たばこ事業	7,030	7,030	—
内、自社たばこ製品	6,690	6,690	—
海外たばこ事業	12,440	12,450	10
内、自社たばこ製品	11,820	11,780	△40
医薬事業	595	585	△10
飲料事業	1,870	1,870	—
加工食品事業	1,590	1,590	—
調整後EBITDA	7,300	7,380	80
国内たばこ事業	2,910	2,910	—
海外たばこ事業	4,400	4,490	90
医薬事業	△105	△110	△5
飲料事業	105	105	—
加工食品事業	95	95	—
営業利益	6,160	6,320	160
当期利益 (親会社所有者帰属)	4,150	4,150	—

※見通しの前提となる販売数量及び為替レート

国内たばこ事業	前回予想	今回予想
販売数量	1,190 億本	1,190 億本

海外たばこ事業	前回予想	今回予想
販売数量	4,320 億本	4,170 億本
内、GFB 販売数量	2,730 億本	2,650 億本

為替レート (1 米国ドル)	前回予想	今回予想
円	95.00	97.00
ルーブル	31.00	31.96
英ポンド	0.66	0.65
ユーロ	0.80	0.76

売上収益につきましては、前回公表時から変更はありません。前提為替レートの見直しにより、調整後 EBITDA につきましては 80 億円上方修正の 7,380 億円を、営業利益につきましては固定資産売却益の増加もあり 160 億円上方修正の 6,320 億円をそれぞれ見込みます。親会社所有者に帰属する当期利益につきましては、一定の税務上の将来費用を見込むこと等から変更はありません。

各セグメントの見通しにつきましては、以下のとおりです。

〔国内たばこ事業〕

前回公表時から変更はありません。

〔海外たばこ事業〕

ロシア及び欧州を中心とした総需要の減少影響等により、総販売数量は4,170億本と前回予想から150億本下方修正することから、自社たばこ製品売上収益については前提為替レートの見直しによるプラス効果があるものの、40億円下方修正いたします。一方、調整後EBITDAについては、単価上昇効果によりドルベースでは変更ありませんが、円安により90億円上方修正いたします。

〔医薬事業〕

今期に見込んでいた一時金収入の一部について翌期に発生する見通しとなったこと等から、売上収益につきましては10億円、調整後EBITDAにつきましては5億円下方修正いたします。

〔飲料事業〕

前回公表時から変更はありません。

〔加工食品事業〕

前回公表時から変更はありません。

なお、2013年10月30日に「国内たばこ事業の更なる競争力強化について」を公表しておりますが、本施策の実施は2014年度以降であり、当期の連結業績予想への影響はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループの要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第2四半期の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(会計方針の変更)

当社が2014年3月期第1四半期より適用している基準は以下のとおりです。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS 第7号	金融商品：開示	金融資産・負債の相殺に関する開示
IFRS 第10号	連結財務諸表	被投資企業の性質に関わらず適用すべき、支配の定義、支配の要素、支配の有無の評価基準等を設定
IFRS 第11号	共同支配の取決め	複数の参加者が共同支配を有するアレンジメントについて、アレンジメントの法的形式のみではなく、法的形式、資産・負債への契約上の取り決め、その他の事実・状況を総合して分類することを規定 また、分類ごとに会計処理を設定
IFRS 第12号	他の企業への関与の開示	非連結を含めた他の事業体への持分について、開示を拡充
IFRS 第13号	公正価値測定	すべての基準書で適用すべき公正価値測定のガイダンスを提供し、従来は個々の基準書で定義されていた公正価値の定義を統一
IAS 第1号	財務諸表の表示	その他の包括利益の項目の表示方法を改訂
IAS 第19号	従業員給付	数理計算上の差異、過去勤務費用及び利息費用他の認識方法、表示方法並びに退職後給付の開示の変更
IAS 第28号	関連会社及び共同支配企業に対する投資	IFRS 第10号、IFRS 第11号及びIFRS 第12号の公表に基づく変更

上記の基準について、要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

なお、上記基準のうちIAS第19号については、経過措置に従い比較情報について遡及修正を行っております。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途本日公表の「2013年度第2四半期 決算説明会資料」に記載しております。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前年度 (2013年3月31日) 修正再表示*	当第2四半期 (2013年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	142,713	140,288
営業債権及びその他の債権	387,837	407,402
棚卸資産	473,042	504,383
その他の金融資産	29,103	10,470
その他の流動資産	177,858	203,972
小計	1,210,552	1,266,515
売却目的で保有する非流動資産	2,594	2,399
流動資産合計	1,213,146	1,268,915
非流動資産		
有形固定資産	672,316	721,046
のれん	1,316,476	1,438,709
無形資産	348,813	361,053
投資不動産	58,995	50,744
退職給付に係る資産	14,825	17,379
持分法で会計処理されている投資	22,940	24,172
その他の金融資産	71,781	81,618
繰延税金資産	133,276	137,484
非流動資産合計	2,639,421	2,832,205
資産合計	3,852,567	4,101,120

	前年度 (2013年3月31日) 修正再表示*	当第2四半期 (2013年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	312,741	288,971
社債及び借入金	44,301	200,151
未払法人所得税等	85,714	83,434
その他の金融負債	8,550	10,553
引当金	5,256	4,693
その他の流動負債	656,305	525,423
小計	1,112,867	1,113,225
売却目的で保有する非流動資産に 直接関連する負債	101	108
流動負債合計	1,112,968	1,113,333
非流動負債		
社債及び借入金	270,399	161,982
その他の金融負債	18,844	19,506
退職給付に係る負債	342,604	355,819
引当金	4,786	5,073
その他の非流動負債	113,226	108,531
繰延税金負債	97,309	103,620
非流動負債合計	847,168	754,532
負債合計	1,960,137	1,867,865
資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,411	736,411
自己株式	(344,573)	(344,569)
その他の資本の構成要素	(155,420)	15,120
利益剰余金	1,470,125	1,638,227
親会社の所有者に帰属する持分	1,806,543	2,145,189
非支配持分	85,887	88,066
資本合計	1,892,431	2,233,255
負債及び資本合計	3,852,567	4,101,120

* 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日) 修正再表示*	当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益	1,057,391	1,159,116
売上原価	(444,567)	(470,797)
売上総利益	612,825	688,319
その他の営業収益	4,510	47,244
持分法による投資利益	2,354	455
販売費及び一般管理費等	(354,143)	(388,656)
営業利益	265,545	347,363
金融収益	1,963	2,703
金融費用	(15,493)	(10,991)
税引前四半期利益	252,016	339,075
法人所得税費用	(80,202)	(98,018)
四半期利益	171,814	241,057
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	168,764	237,147
非支配持分	3,050	3,910
四半期利益	171,814	241,057
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	88.62	130.48
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	88.58	130.41

営業利益から調整後EBITDAへの調整表

	前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日) 修正再表示*	当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
	百万円	百万円
営業利益	265,545	347,363
減価償却費及び償却費	56,850	65,186
調整項目(収益)	(1,228)	(41,973)
調整項目(費用)	7,850	1,142
調整後EBITDA	329,017	371,717

* 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

要約四半期連結包括利益計算書

	前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日) 修正再表示*	当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	171,814	241,057
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	(570)	2,935
確定給付型退職給付制度の再測定額	(10,150)	(26)
純損益に振り替えられない項目の合計	(10,719)	2,909
後に純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	(17,825)	167,215
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動額の 有効部分	47	111
後に純損益に振り替えられる可能性のある項目の合計	(17,778)	167,326
税引後その他の包括利益	(28,497)	170,235
四半期包括利益	143,317	411,292
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	140,423	407,634
非支配持分	2,894	3,659
四半期包括利益	143,317	411,292

* 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素						
	資本金	資本剰余金	自己株式	新株予約権	在外営業活動 体の換算差額*	キャッシュ・	その他の包括
						フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	利益を通じて 測定する金融 資産の公正価 値の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2012年4月1日 残高	100,000	736,410	(94,574)	1,028	(387,228)	(309)	10,146
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	(17,663)	47	(575)
四半期包括利益	—	—	—	—	(17,663)	47	(575)
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引 配当金	—	—	—	72	—	—	—
支配の喪失とならない 子会社に対する所有者 持分の変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	—	—	—	—	—	—	0
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	—	72	—	—	0
2012年9月30日 残高	100,000	736,410	(94,574)	1,101	(404,891)	(262)	9,571
2013年4月1日 残高	100,000	736,411	(344,573)	1,274	(171,341)	(187)	14,835
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	167,488	111	2,949
四半期包括利益	—	—	—	—	167,488	111	2,949
自己株式の取得	—	—	(0)	—	—	—	—
自己株式の処分	—	1	4	(4)	—	—	—
株式に基づく報酬取引 配当金	—	—	—	58	—	—	—
支配の喪失とならない 子会社に対する所有者 持分の変動	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	—	—	—	—	—	—	(61)
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	1	3	54	—	—	(61)
2013年9月30日 残高	100,000	736,411	(344,569)	1,328	(3,853)	(77)	17,723

* 会計方針の変更に伴い遡及修正を行っております（「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照）。

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	確定給付型退職給付制度の再測定額*	合計*	利益剰余金*	合計*	非支配持分*	資本合計*
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2012年4月1日 残高	—	(376,363)	1,268,944	1,634,418	80,576	1,714,994
四半期利益	—	—	168,764	168,764	3,050	171,814
その他の包括利益	(10,150)	(28,341)	—	(28,341)	(156)	(28,497)
四半期包括利益	(10,150)	(28,341)	168,764	140,423	2,894	143,317
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	72	—	72	—	72
配当金	—	—	(57,129)	(57,129)	(2,261)	(59,390)
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	10,150	10,150	(10,150)	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	469	469
所有者との取引額等合計	10,150	10,222	(67,279)	(57,057)	(1,792)	(58,848)
2012年9月30日 残高	—	(394,481)	1,370,429	1,717,783	81,679	1,799,462
2013年4月1日 残高	—	(155,420)	1,470,125	1,806,543	85,887	1,892,431
四半期利益	—	—	237,147	237,147	3,910	241,057
その他の包括利益	(60)	170,487	—	170,487	(252)	170,235
四半期包括利益	(60)	170,487	237,147	407,634	3,659	411,292
自己株式の取得	—	—	—	(0)	—	(0)
自己株式の処分	—	(4)	—	0	—	0
株式に基づく報酬取引	—	58	—	58	—	58
配当金	—	—	(69,065)	(69,065)	(1,755)	(70,819)
支配の喪失とならない子会社に対する所有者持分の変動	—	—	19	19	(1,628)	(1,610)
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	60	(1)	1	—	—	—
その他の増減	—	—	—	—	1,903	1,903
所有者との取引額等合計	60	53	(69,045)	(68,988)	(1,480)	(70,468)
2013年9月30日 残高	—	15,120	1,638,227	2,145,189	88,066	2,233,255

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日) 修正再表示*	当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	252,016	339,075
減価償却費及び償却費	56,850	65,186
減損損失	2,814	331
受取利息及び受取配当金	(1,857)	(2,500)
支払利息	5,207	4,398
持分法による投資損益(益)	(2,354)	(455)
有形固定資産、無形資産及び投資不動産除売却損益(益)	805	(39,791)
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	(16,260)	(4,932)
棚卸資産の増減額(増加)	6,919	3,550
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(4,651)	(23,664)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(2,087)	(859)
前払たばこ税の増減額(増加)	5,869	6,159
未払たばこ税等の増減額(減少)	30,457	(150,344)
未払消費税等の増減額(減少)	(4,402)	(7,071)
その他	(19,021)	(60,691)
小計	310,304	128,392
利息及び配当金の受取額	2,850	4,401
利息の支払額	(6,539)	(5,744)
法人所得税等の支払額	(47,346)	(103,838)
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,269	23,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資の取得による支出	(1,113)	(4,458)
投資の売却及び償還による収入	2,313	19,911
有形固定資産の取得による支出	(44,755)	(50,859)
投資不動産の売却による収入	1,232	51,359
無形資産の取得による支出	(9,630)	(11,750)
定期預金の預入による支出	(22,348)	(339)
定期預金の払出による収入	23,368	4,372
子会社株式の取得による支出	(45,593)	—
その他	247	(398)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(96,279)	7,839

	前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日) 修正再表示*	当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
	百万円	百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー		
支払配当金	(57,116)	(68,983)
非支配持分への支払配当金	(2,261)	(1,777)
非支配持分からの払込みによる収入	216	59
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (減少)	(12,852)	5,365
長期借入による収入	544	70
長期借入金の返済による支出	(80,679)	(20,320)
社債の発行による収入	—	49,395
社債の償還による支出	(60,350)	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	(2,402)	(2,528)
自己株式の取得による支出	—	(0)
非支配持分からの子会社持分の取得による支出	—	(1,610)
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	(214,900)	(40,330)
現金及び現金同等物の増減額 (減少)	(51,910)	(9,280)
現金及び現金同等物の期首残高	404,740	142,713
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	(8,522)	6,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	344,309	140,288

* 「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」参照

(5) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定されております。

当社グループは主に製造たばこ、医薬品、飲料、加工食品を製造・販売しており、そのうち製造たばこについては、国内と海外に分けて事業管理を行っております。従って当社グループは、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分されたセグメントから構成されており、「国内たばこ事業」、「海外たばこ事業」、「医薬事業」、「飲料事業」、「加工食品事業」の5つを報告セグメントとしております。

「国内たばこ事業」は、国内(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場を含みます)での製造たばこの製造・販売を行っております。「海外たばこ事業」は、製造・販売を統括するJT International S.A. を中核として、海外での製造たばこの製造・販売を行っております。「医薬事業」は、医療用医薬品の研究開発・製造・販売を行っております。「飲料事業」は、清涼飲料水の製造・販売を行っております。「加工食品事業」は、冷凍・常温加工食品、ベーカリー及び調味料等の製造・販売を行っております。

② セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。取締役会は、収益と調整後EBITDAを検討のうえ、セグメント業績を評価し、経営資源の配分を決定しております。金融収益、金融費用、法人所得税費用はグループ本社で管理されるため、これらの収益・費用はセグメントの業績から除外しております。なお、セグメント間の取引は概ね市場実勢価格に基づいております。

前第2四半期（自 2012年4月1日 至 2012年9月30日）

	報告セグメント						その他 (注3)	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ (注2)	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円			
売上収益									
外部収益(注4)	350,673	490,240	26,515	98,197	83,876	1,049,502	7,889	—	1,057,391
セグメント間収益	15,243	16,897	—	64	361	32,565	4,600	(37,165)	—
収益合計	<u>365,916</u>	<u>507,138</u>	<u>26,515</u>	<u>98,261</u>	<u>84,238</u>	<u>1,082,067</u>	<u>12,489</u>	<u>(37,165)</u>	<u>1,057,391</u>
セグメント損益									
調整後EBITDA(注1)	<u>154,202</u>	<u>172,868</u>	<u>(6,065)</u>	<u>7,315</u>	<u>2,711</u>	<u>331,030</u>	<u>(1,665)</u>	<u>(348)</u>	<u>329,017</u>

当第2四半期（自 2013年4月1日 至 2013年9月30日）

	報告セグメント						その他 (注3)	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ (注2)	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円			
売上収益									
外部収益(注4)	352,334	596,225	30,413	97,187	75,841	1,152,000	7,117	—	1,159,116
セグメント間収益	12,051	18,204	—	60	443	30,758	4,943	(35,701)	—
収益合計	<u>364,384</u>	<u>614,429</u>	<u>30,413</u>	<u>97,247</u>	<u>76,284</u>	<u>1,182,757</u>	<u>12,060</u>	<u>(35,701)</u>	<u>1,159,116</u>
セグメント損益									
調整後EBITDA(注1)	<u>153,263</u>	<u>217,827</u>	<u>(3,636)</u>	<u>4,549</u>	<u>2,994</u>	<u>374,997</u>	<u>(2,969)</u>	<u>(310)</u>	<u>371,717</u>

調整後EBITDAから税引前四半期利益への調整表

前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)

	報告セグメント						その他 (注3)	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ (注2)	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円			
調整後EBITDA(注1)	154,202	172,868	(6,065)	7,315	2,711	331,030	(1,665)	(348)	329,017
減価償却費及び償却費	(19,623)	(25,306)	(1,659)	(4,969)	(3,538)	(55,097)	(1,910)	157	(56,850)
調整項目(収益)(注5)	1,200	5	—	—	—	1,205	23	—	1,228
調整項目(費用)(注5)	(96)	(2,785)	—	—	(2,729)	(5,610)	(2,240)	—	(7,850)
営業利益(損失)	135,682	144,782	(7,724)	2,345	(3,556)	271,529	(5,792)	(191)	265,545
金融収益									1,963
金融費用									(15,493)
税引前四半期利益									<u>252,016</u>

当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)

	報告セグメント						その他 (注3)	消去	連結
	国内たばこ	海外たばこ (注2)	医薬	飲料	加工食品	計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円			
調整後EBITDA(注1)	153,263	217,827	(3,636)	4,549	2,994	374,997	(2,969)	(310)	371,717
減価償却費及び償却費	(22,070)	(30,993)	(1,777)	(5,280)	(3,408)	(63,526)	(1,813)	154	(65,186)
調整項目(収益)(注5)	1,044	—	—	—	244	1,288	40,685	—	41,973
調整項目(費用)(注5)	—	(91)	—	—	(115)	(205)	(937)	—	(1,142)
営業利益(損失)	132,237	186,744	(5,413)	(730)	(285)	312,554	34,965	(156)	347,363
金融収益									2,703
金融費用									(10,991)
税引前四半期利益									<u>339,075</u>

- (注1) 調整後EBITDAは、営業利益(損失)から減価償却費及び償却費、調整項目(収益及び費用)を除外しております。
- (注2) 「海外たばこ」に区分したJT International S.A.を中核とする海外子会社グループの年度決算日は12月31日であり、1月1日から6月30日までの損益等を前第2四半期及び当第2四半期に計上しております。
- (注3) 「その他」には、不動産賃貸に係る事業活動等及び報告セグメントに帰属しない企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等の本社経費が含まれております。
- (注4) 国内たばこ事業及び海外たばこ事業における自社たばこ製品売上収益は、以下のとおりであります。

	前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
	百万円	百万円
国内たばこ	335,018	335,756
海外たばこ	456,958	559,657

- (注5) 調整項目(収益)には、不動産の処分に伴う売却益等のリストラクチャリング収益を含んでおります。また、調整項目(費用)には、工場閉鎖等に係るリストラクチャリング費用の他、葉たばこ農家に対する廃作協力金を含んでおります。

調整項目(費用)の主な内訳は、以下のとおりであります。

	前第2四半期 (自 2012年4月1日 至 2012年9月30日)	当第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)
	百万円	百万円
リストラクチャリング費用	7,845	1,142
葉たばこ農家に対する廃作協力金	4	—
調整項目(費用)	<u>7,850</u>	<u>1,142</u>

前第2四半期におけるリストラクチャリング費用は、海外たばこ事業における合理化施策及び加工食品事業における水産事業撤退に係る費用を含んでおります。

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は2013年10月30日の取締役会において、グループの中核事業である国内たばこ事業における事業環境の変化への対応力を強化し、持続的成長を目指していく観点から、競争力・収益力強化に向けた以下の施策の実施を決議しました。

1. 営業体制の再構築

2015年4月1日付で全国の営業拠点を最適化し、現在の25支店体制から15支社体制へ移行

2. 工場等の閉鎖

郡山工場、浜松工場、岡山印刷工場、東日本原料本部の葉たばこ原料処理工程、及び、特機事業部を2015年3月末をもって、平塚工場を2016年3月末をもってそれぞれ廃止

3. 基盤強化の推進

支社・工場等の機能強化／権限拡大

4. 希望退職募集等の実施

本件施策実施に伴う要員の適正化を図るため、国内たばこ事業及びコーポレート部門の社員を対象に1,600人規模の希望退職募集等を実施（退職時期：原則として2015年3月末。但し、一部の事業所については2016年3月末）

なお、本施策が当社の連結財務諸表に与える影響については、現時点では未確定です。